

1.目的

- 1) MTDLP を用いた事例発表を通してその使い方を理解する.
- 2) 事例発表聴講・検討を通して
 - ①生活行為に焦点をあてた介入方法を学び,個別対応力を高める.
 - ②他職種等の連携方法を学び,作業療法士としてのマネジメント力を高める.
 - ③具体的な MTDLP の実践に学び,継続的な MTDLP の実践に活かす.
- 3) 事例発表することで,自己の介入を客観的に振り返る.
- 4) 事例発表聴講・検討,事例発表することで,生涯教育 MTDLP 事例報告の参考とし,実践に努める.

2.事例検討会について

- 1) 1 事例当たりの所要時間は 60 分を標準とする.

＜時間配分＞事例発表：15～20 分（発表者は MTDLP 実施で悩んだり,迷ったりした点などの課題をあげる）

質疑応答, グループ（5～6 人）討議, グループ討議の結果発表, まとめ 40～45 分

- 2) 参加者全員が参加するグループディスカッションを行う.

参加者全員が参加するグループディスカッションを行う.

＜ディスカッションの内容例＞発表者が挙げた課題について討議する、事例審査表及び事例審査基準（事例報告の手引きに記載）を活用する

- 3) 発表者は決められた書類を作成し,事例検討会時の資料にする.

発表者の資料は以下の通り. 事例検討会の時に参加者分を資料として準備する.

A：事例の概略や MTDLP の経過をまとめた抄録・・・A4 で約 1 枚程度

事例のテーマ ② 基本情報（事例紹介） ③ 作業療法評価 ④ 作業療法計画

⑤ 介入経過 ⑥ 結果 ⑦ 考察

B：マネジメントシート・・・A4 で 1 枚

C：生活行為課題分析シート・・・A4 で 1 枚

※ 配付資料は、Web 申し込みフォームから送信してください。

留意点

検討会当日の報告は,パワーポイントでの発表になります.

その際, 作成配布資料以外の画像などの資料を含めることを推奨します.

当日フラッシュメモリをご持参ください.

3.その他

- ①事例発表の際、対象者から事例発表に関する説明と同意を必ず得るようにしてください。
- ②生活行為向上マネジメントの各種シートは、日本作業療法士協会 事例報告のページ内からダウンロード可能です。その際、事例報告作成の手引き（生活行為向上マネジメント）も同時にダウンロードし、実践、事例報告の参考としてください。

<https://www.jaot.net/jireinet/>

【問い合わせ先】 地方独立法人 秋田県立病院機構

リハビリテーション・精神医療センター

機能訓練部 川野辺 穰

Tel : 018-892-3751 Fax : 018-892-3785

E-mail : kawanobe-minoru@akita-rehacen.jp